

## 丹波市の老舗企業を紹介 第1弾 天保元年創業(株)吉見屋百貨店(よしみや)



### お客様の希望にこたえる キーワードは「心くばり」

天保元年(1830年)に創業し、衣料品などの販売で春日町黒井に店を構えた吉見屋百貨店(よしみや)。江戸時代後期から地域の人に愛されて、今年で創業188年目を迎えます。

吉見屋百貨店の8代目、小橋初代さん(左)と高見ゆかりさんに、商売に対する思いなどを伺いました。

### 今年で創業188年目

(株)吉見屋百貨店(よしみや)は、今年で創業188年目を迎えます。明治時代後期には、住み込みの店員さんとともに、大八車で京都まで仕入れに行っていたと聞いています。現在は先代の父の跡を継ぎ、8代目として姉妹2人で店を切り盛りしています。呉服や子供服を取り扱った時期もありましたが、現在は婦人服を中心に衣料品を販売しています。

### 商売の厳しさとおもしろさ

商売をする親の姿を見て育ったので、商売の厳しさは身にしみて分かっていました。正直初めは店を継ぎたいとは思いませんでしたが、両親に子育てを手伝ってもらいながら、自然と商売の世界に戻ってきていました。休みがとりにくいは大変ですが「明るい色の服がほしい」と、生き生きと来店される自分の親世代のお客様に会うと、こちらが元気をもらいます。

### お客様の希望に応える

150年以上前に店を構えた黒井の街なかから、25年前に現在の

場所にお店を移転しました。「よしみや」は常に時代の流れやお客さんの希望に対応して品揃えを変えてきました。現在は60代〜80代向けの婦人服に絞って販売しています。販売の際は、買い物しやすいように休憩用の椅子や机を用意したり、飲み物を準備したり、居心地のよい空間にするための工夫をしています。「ちょうどよい服がある」と口コミで聞いて、市外から来られるお客さんや、デマンドタクシーを利用して来られる常連さんもあります。「行きたい」と思ってもらえているのが嬉しいです。

### 来て良かったと思える店に

今後も「今日来て良かった」と毎回思ってもらえるような品揃えの店にしたいと思っています。女性はいつまでも若く、きれいでいたいです。お客様の希望に合う服を仕入れて、きれいになっていただくためのお手伝いをしたいと思っています。また、お店でちぎり絵教室などのイベントも実施しています。色々な人が気軽に立ち寄りやすいような店作りにも心がけたいと思っています。元氣な女性の笑顔があふれる地域にできたらいいですね。